

令和2年4月13日（月）

1 各業界の現況について

（宿泊）

- ・ 旅館予約は2月は前年の70~80%程度だったが、4月に入り10~20%まで減少
- ・ 借入れが困難となり、閉館準備を進めている事業者もいる
- ・ 濃厚接触者などの待機先として利用を求められており、対応に困っている

（飲食）

- ・ 宴会自粛により現在は約半数が休業している

（金融機関）

- ・ 4月に入り、相談件数が倍増（うち1/3が飲食業からの相談）
- ・ 今後は物流の停滞などから、製造業や運送業からの相談が増えると思われる
- ・ これまでは売り上げが落ち込んだ分の手当という意味での借入れであったが、状態が長期化した場合、借入自体が困難になると思われる

（団体に属さない個人事業者）

- ・ 独自に個人事業者へのアンケートを実施
（カフェ：観光客の減少から75%売上減少、ゲストハウス：ほぼ休業状態、など）

◎松本観光コンベンション協会 会員アンケート（3/15実施）

宿泊飲食業売上	1月：3%増	2月：0.6%減	3月：54%減	※いずれも前年比
宴会件数	1月：0.2%減	2月：10.2%減	3月：77.4%減	

2 現在の支援策についての課題等

- ・ 個人事業主は、自転車操業的に事業を行っているため、返済計画が立てられず、借入れが困難。従って融資よりも給付型、なおかつ継続型の支援を欲している。特に、家賃等ランニングコストに係る継続的な支援（給付型）の要望が多い
- ・ コロナ対策に係る融資制度についての周知はなされており、すでに限度額まで借入れを行っている事業者もいる。
- ・ 融資支援ではなく、固定資産税等の減免を求める声も多い
- ・ 国の雇用調整助成金だけでは雇用維持は困難。上乘せ補助等が必要と思われる。

3 今後必要とされる方策について

- ・ 今後長期化し、先行きが分からないといった状況の中で、期限的な目標がないと、経営の見通しが立たず、融資や給付を受けるにしてもどれだけ必要となるか予想が立たない。従って、税の減免のように、「取らない」という選択肢も必要と思われる。
- ・ 「すべてイベントはダメ」といったような社会的同調圧力がある。何が良くて、何ができないか、安全のスタンス（松本の安全基準）を作るべき（例：イベント開催判断、松本城などの施設への入場基準、など）
- ・ 経済活性化策など終息後にも支援が必要となる。

4 今後の対応

今回の意見を踏まえ、次回の部会（4/22）で新たな支援策の方向性を提示する予定。